参考資料３　科学技術・学術審議会
基礎研究振興部会（第１８回）令和７年７月７日

文部科学省

生成AIをはじめとするAI開発力の強化

令和7年度予算額　138億円
（前年度予算額　133億円）
※運営費交付金中の推計額含む

令和6年度補正予算額　61億円

国民が生成AIに対して感じるリスクの声に応えるとともに、我が国の科学技術の競争力を強化するため、
① **アカデミアを中心としたオープンな生成AIモデル研究開発を通じた透明性・信頼性の確保によるリスクの軽減［AI for Society］**
② **開発された基盤モデルを活用した、科学研究向けAI基盤モデルの開発及び多様な科学分野での利活用［AI for Science］**
③ **若手研究者・博士後期課程学生に対する人材育成［Cross AI Talent Development ］**
を推進し、生成AIモデルの基礎的な研究開発力を国内で醸成する。
また、これらの取組を支える**革新的なAI基盤技術の研究開発等を行うAIPセンターの取組を推進**するとともに、JSTのファンディングを通じた**全国の大学・研究機関等のAI関連の研究支援を推進**する。

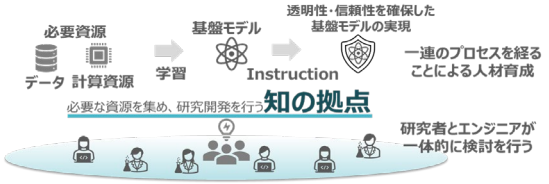
生成AIの開発力強化と人材育成の推進

AI For Society

生成AIモデルの透明性・信頼性の確保に向けた研究開発拠点形成

令和７年度予算額（案）　：8億円（7億円）
令和６年度補正予算額　：42億円

- ✓ 国立情報学研究所（NII）において、アカデミアを中心とした一定規模のオープンな生成AIモデルを構築できる環境を整備し、生成AIモデルに関する基盤的な研究力・開発力を醸成。
- ✓ 生成AIモデルの透明性・信頼性の確保に向けた研究開発を実施するとともに、画像・音声など多様なモダリティのデータを扱うことのできるマルチモーダルモデルに関する研究開発を行う。



AI For Science

科学研究向けAI基盤モデルの開発・共用（TRIP-AGIS）

令和７年度予算額（案）　：　25億円（17億円）
令和６年度補正予算額　：20億円
※理化学研究所運営費交付金中の推計額

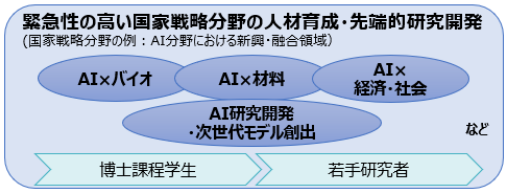
- ✓ 特定科学分野（ドメイン）に強い他の研究機関と連携し、基盤モデルを活用して、科学研究データを追加学習等することで、ドメイン指向の科学研究向けAI基盤モデル（科学基盤モデル）を開発。
- ✓ 米国のAI for Scienceの中核機関とも深く連携することで、世界に先駆けて科学基盤モデルを開発。その利用を産学に広く開放することで、多様な分野における科学研究の革新をねらう。

Cross AI Talent Development

国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成（次世代AI人材育成プログラム）

※ 別途、令和５年度補正予算により、
基金措置（JST）［213億円］

- ✓ 緊急性の高い国家戦略分野として、次世代AI分野を設定し、人材育成及び先端的研究開発を推進。
- ✓ 若手研究者支援：所属機関に関わらず、最適な場所を求めて自由に独立して研究に従事し、ステップアップできる環境を構築、処遇向上。
- ✓ 博士学生支援：十分な生活費相当額及び研究費をインセンティブ付与。



知見・人材・ノウハウ等の共有・活用を通じて、民間主導の大規模基盤モデル構築に資する環境整備を推進

AIP: 人工知能/ビッグデータ/IoT/サイバーセキュリティ統合プロジェクト

革新知能統合研究センター　（AIPセンター）
理化学研究所【拠点】

令和７年度予算額（案）　：　30億円（31億円）※運営費交付金中の推計額含む

世界最先端の研究者を糾合し、深層学習の原理の解明や社会課題の解決等に向け、革新的なAI基盤技術の研究開発や我が国の強みであるビッグデータを活用した研究開発等を推進。

一体的に推進

戦略的創造研究推進事業　（一部）
科学技術振興機構【ファンディング】

令和７年度予算額（案）　：　75億円（79億円）　※運営費交付金中の推計額

- ✓ AIやビッグデータ等における若手研究者の独創的な発想や、新たなイノベーションを切り拓く挑戦的な研究課題を支援。
- ✓ 「AIPネットワークラボ」としての一体的運営により、課題選考から研究推進まで幅広いフェーズでの研究領域間の連携を促進。

（担当：研究振興局参事官（情報担当）付）